

コロナかわら版

令和2年5月27日(水)

発行：様似町新型コロナウイルス防疫
対策本部(電話 36-2111)

■新しい生活様式を実践していこう！(緊急事態宣言は解除となりましたが…)

5月25日に北海道と1都3県が解除となったことで、全国すべてで法に基づく緊急事態宣言が解除されましたが、ウイルスがいなくなったわけではありません。いつまた、感染が拡大するかもしれませんので、感染を防ぐ「新しい生活様式」を私たちの日常に習慣づけていきましょう。



また、5月中は、北海道としての対策は継続中です。少なくとも今週末までの札幌市との不要不急の往来は自粛しましょう。

■休館していた公共施設を再開します

国の非常事態宣言がすべての都道府県で解除されたことを受けて、4月から休館・休園していました公共施設について、次のとおり再開します。

ただし、当面の間は換気や空間の確保、利用時間の制約など、さまざまな制限をしたなかでの開放となりますので、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

分類	施設名	再開日
社会教育施設	中央公民館、スポーツセンター、第2体育館、生涯スポーツ研修センター、柔道場、観音山スポーツ公園、郷土館、図書館	5月26日(火)～
観光施設	アポイ山麓パークゴルフ場	5月20日(水)～
	アポイ岳ジオパークビジターセンター、アポイ山麓ファミリーパークキャンプ場、様似ダムキャンプ場	5月27日(水)～
	様似観光案内所	5月30日(土)～
学校関係	小学校・中学校、放課後児童クラブ「ひ・ま・わ・り」、幼児センター	6月1日(月)～

※小中学校については、5月31日まで臨時休校としたうえで、学年ごとの分散登校や午前授業、5時間授業を取り入れた段階的な登校としています。また、放課後児童クラブと幼児センターも、家庭や仕事の都合上どうしても預かりが必要なお子さんのみの受入れとさせていただいていますが、いずれも6月1日からは通常通りの開設に戻ります。

■火まつりは、中止となりました

今年で50回目の節目を迎える「アポイの火まつり(実行委員長:坂下一幸町長)」。8月1日(土)・2日(日)に行われる予定でしたが、町内外から多くの人が集まり感染のリスクが高まることが考えられることから、今年の開催を断念し、来年に延期することが決定しました。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

■各種支援・対策

・特別定額給付金（一人 10 万円）

国が国民一人につき 10 万円を支給する特別定額給付金については、すでに申請受付と給付金の振込みを行っており、5月26日現在で、全世帯の約9割が申請を済ませ、給付金の振込み等も約9割となっています。申請受付期限は8月12日と時間は十分にありますが、まだ申請されていない世帯はお早めに済ませるようお願いします。詳しくは、役場税務町民課（36-2112）まで。

【5月26日時点申請・給付状況】

申請受付済み世帯・人数 1,988世帯(91.8%) 3,892人(92.8%)

給付済み世帯数・人数 1,920世帯(88.7%) 3,767人(89.8%)

給付済み額 376,700,000円

・マスクの配布について

感染予防に役立てていただくため、町民一人につき5枚のマスク（不織布）を配布します。ただし、2歳未満の子どもは窒息などの危険性があることから、配布対象としません。

【配布方法】

・幼児センター、小中学校→それぞれの施設から配布（5月26日ごろ）

・上記以外の町民→郵送にて配布（6月10日ごろ）

・町税の猶予・国保税・介護保険料の軽減措置について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した人に対し、町税の支払い猶予、国保税・介護保険料の軽減を行います（6月議会に改正条例を上程予定）。詳しくは、町税・国保税については役場税務町民課（36-2112）、介護保険料については保健福祉センターきらく（36-5511）までお問合せください。

・地域応援券（仮称）の発行について

新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ消費を喚起するため、町内で使える応援券の発行を検討しています。詳細が決まり次第改めてお知らせします（6月議会に補正予算を上程予定）。

・国の支援策について

新型コロナウイルス感染症に関しては、国においてもさまざまな支援策が講じられていますが、不明な点などはお気軽に役場（36-2111）までお問い合わせください。

■スペシャル・サンクス（ありがとうございました!）

新型コロナウイルス感染症の予防に役立ててほしいと、町内の個人、企業、団体から厚いお気持ちをいただきました。ここにご紹介、お礼申し上げます。なお、くわしくは、来月の広報さまに（6月号）でもご紹介いたします。

寄付・寄贈者	寄付・寄贈先	寄付・寄贈の内容
ボランティアを代表して辻玲子さん（鶉苫）	幼児センター	手作り布マスク 170 枚
日高国際事業協同組合（畑中孝允代表理事）	幼児センター	不織布マスク550枚 手指用洗浄ジェル13本
様似建設協会（池田尚登会長）	社会福祉協議会、ソビラ荘	不織布マスク3,000枚
中村茂さん（鶉苫）	社会福祉協議会	マスク200枚
様似ロータリークラブ（小林栄一会長）	ソビラ荘	手作り布マスク 100 枚
有限会社いづか（井塚司代表取締役）	ソビラ荘	不織布マスク 300 枚
池田建設株式会社（池田尚登代表取締役社長）	町	200万円

新型コロナウイルス感染症関連情報
（町ホームページ）

